

令和7年度 神戸臨床研究情報センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	基礎研究を臨床又は実用化へ橋渡しする研究を推進し、市民の健康増進と産業発展を目的として設置。 医療又は健康の分野における基礎研究を臨床又は実用化へ橋渡しする研究の推進に必要な情報基盤の構築及びこれに伴う研究を行うとともに、橋渡し研究に関する情報の収集、管理及び発信を行い、もって市民の健康の増進及び産業の発展に寄与する目的で設置された施設である。
(2)事業内容	・センターの運営及び維持管理 ・ドライラボ、ウェットラボ等、貸しラボの運営 ・貸し研修室・会議室の運営 ・駐車場の運営
(3)施設内容	1階:管理室、検体保管室、倉庫等／2階:貸し研修室・会議室、研究室、事務室等／3～4階:研究室／駐車場

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由:専門的かつ高度な技術を有する者が客観的に特定される場合に該当するため）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)10,633千円（決算額）10,633千円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績								
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	供用開始後20年以上が経過し、各種設備の経年劣化、塩害進行等による故障・修繕対応が増加している。特に、通常の事務所ビルとは異なり、24時間・365日フル稼働の研究ラボや検体保管室、年末年始以外は休館日のない貸し研修室・会議室等で構成されているため、通常の経年劣化以上のペースで劣化が進んでいる。 消防設備の法定点検では消火器の取替、消火器具格納箱、表示灯の取替を行った。また地下貯蔵タンクの法定点検を実施した。その他、ドラフトチャンバー、空調機等の故障にともなう修繕、受水槽室制御盤内UPS、防火ダンパー、全熱交換器設置等の更新を行った。									
②施設の運営業務	ドライラボ・ウェットラボ等貸しラボの運営、貸し研修室・会議室の運営、駐車場の運営を行った。									
③自主事業等	神戸医療産業都市をはじめライフサイエンスや先端医療などの取り組みについて、より多くの市民に分かりやすく説明するため、毎年「神戸医療産業都市一般公開」を開催している。当センターをメイン会場として、市民講演会やパネル展示を行った。									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法： ）									
	目標	—	実績	—	要因	—				
	▼ 貸室利用率（算出方法： ）									
	目標	—	実績	—	要因	—				
②各種事業の参加者数	▼ 貸ラボの運営事業（概要：ドライラボ、ウェットラボ等、研究用居室の整備、入居者募集、利用促進等）									
	目標	100%	実績	85.3%	要因	複数企業の退去があったため				
	▼ 貸し研修室・会議室の運営事業（概要：研修室・会議室の整備、利用者募集、利用促進等）									
	目標	35%	実績	48.7%	要因	Web会議に対応した設備・機器等の整備により、Webを併用したイベントでの利用も増えたため。				
	▼ 駐車場の運営事業（概要：駐車場の整備、利用者募集、利用促進等）									
	目標	17区画	実績	9区画	要因	昨年度実績と変化のないものの、引き続き施設内での周知等利用促進のための取り組みを実施した。				
(3)収支状況										
①使用料収入	目標	95,874千円	実績	80,071千円	要因	複数企業の退去があったため				
②収支バランス	収入		111,034千円	支出		111,636千円	収支の差	-602千円	目標	未達成
	内訳	指定管理料	10,633千円	内訳	人件費	7,779千円	備品費	0千円	複数企業の退去により、 ラボ使用料の収入が計画より大きく下回るなど、 黒字確保が出来ず目標を達成できなかった。	
		利用料金	80,071千円		警備費	47,660千円	消耗品費	0千円		
		その他	20,330千円		清掃費	0千円	事務費	613千円		
					設備費	12,012千円	その他	6,642千円		
					修繕費	4,462千円				
			光熱水費	32,668千円						

(4)満足度調査の結果等

①調査概要	調査期間:令和7年4月1日～令和8年3月31日 (1)ラボ入居者アンケート 調査方法:ラボ入居者を対象に直接配布(電子メール) 回答者数:9社 設問数:6問 主な質問項目:TRIを選択した理由、施設面での利便性、賃料、職員の対応など (2)研修室・会議室利用者アンケート 調査方法:研修室・会議室利用者に直接配布 回答者数:35社 設問数:11問 主な質問項目:TRIを選択した理由、施設面での利便性、使用料、職員の対応など					
②結果(満足度)	▼ ラボの設備・備品の満足度(算出方法:「ラボ設備・備品について」という質問に「大変良い」・「良い」と回答した人の割合)					
	目標	過去平均93%	実績	100%	要因	各種点検・工事も丁寧に調整いただいている
	▼ ラボ施設全体の満足度(算出方法:「施設全体について」という質問に「大変良い」・「良い」と回答した人の割合)					
	目標	過去平均89%	実績	100%	要因	警備・施設の方を含め、職員の方にはいろいろな手助けをいただいております感謝している
	▼ ラボ入居者における職員の対応の満足度(算出方法:「職員の対応について」という質問に「大変良かった」・「良かった」と回答した人の割合)					
	目標	過去平均100%	実績	100%	要因	いつも色々な手助けをいただいております感謝している
	▼ 研修室・会議室の設備・備品の満足度(算出方法:「会議室・研修室の設備・備品について」という質問に「大変良い」・「良い」と回答した人の割合)					
	目標	過去平均100%	実績	97%	要因	プロジェクターの映写サイズが小さかったとの回答あり
	▼ 研修室・会議室における職員の対応の満足度(算出方法:「職員の対応について」という質問に「大変良かった」・「良かった」と回答した人の割合)					
	目標	過去平均100%	実績	100%	要因	いつも気持ちよく利用させていただいている
③主な意見・苦情、対応	・中央市民病院から近く、顧客からの指名もある ・パーテーション等で区切られた商談スペースがあると良い ・施設や設備が古くなってきている					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	50 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	50
(2)利用状況	20 点	0.8 (提案をやや下回る)	16
(3)収支状況	25 点	0.8 (提案をやや下回る)	20
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.2 (提案をやや上回る)	6
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			92 点
			総合評価
			A